

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 17 年度日本核医学会理事候補者会議事録

日 時：平成 17 年 10 月 31 日(月)

13 時 00 分～14 時 00 分

場 所：東京鉄道会館，12 階ルビーホール

出席者：

利波紀久理事長，日下部きよ子会長

理事兼次期理事候補者(敬称略)：油野民雄，

井上登美夫，宇野公一，小泉 潔，

阪原晴海，佐治英郎，穴戸文男

理事候補者(敬称略)：遠藤啓吾，菅野 巖，

日下部きよ子，小須田茂，中村佳代子，

中條政敬，福田 寛，松田博史

新監事候補者(敬称略)：久保敦司，玉木長良

欠 席：西村恒彦

議題

1. 次期理事長候補者の選出

次期理事候補者 17 名が投票すること，選挙の管理・開票は久保，玉木両理事が行うことが確認された。

上記に従い，日下部きよ子氏を理事長候補者とした。

2. 中間法人の設立について

a) 中間法人定款と定款細則について

小泉庶務担当理事から，会員に定款 1 次案を提示した旨の報告があった。

定款案が小泉理事から説明され，討議の結果，承認された。平成 17 年 11 月の評議員会および総会に現在の理事会が提出し承認をうけ，正式に定款が制定されることが確認された。

b) 設立手続きについて確認した。

原始社員は，日下部きよ子，小泉潔，本田憲

業，中村佳代子(敬称略)の 4 名とした。

§ 2005 (平成 17) 年第 4 回日本核医学会理事会議事録

日 時：2005 (平成 17) 年 11 月 10 日(木)

12:00～15:20

場 所：東京，ホテルイースト 21 牡丹の間

出席者

理事長：利波紀久

会 長：日下部きよ子

理 事：油野民雄，伊藤健吾，井上登美夫，

宇野公一，尾川浩一，久保敦司，

小泉 潔，阪原晴海，佐治英郎，

穴戸文男，竹田 寛，玉木長良，

中川原譲二，福永仁夫，本田憲業

監 事：中條政敬

春季大会大会長：小須田 茂

幹事長：中嶋憲一

事務局：神田正子

次期理事

遠藤啓吾，菅野 巖，中村佳代子，

福田 寛，松田博史

欠席者

理 事：大鈴文孝，西村恒彦

監 事：米倉義晴

I. 議題

審議事項

1. 2008 (平成 20) 年開催第 48 回学術総会会長の推薦(資料) (利波紀久理事長)

10 月 31 日に施行された会長推薦投票の結果が報告された(有権者 177 名，投票者 84 名)。

上位三者について投票が行われた結果、米倉義晴氏が第48回学術総会会長に推薦され、米倉氏の了承を得た。

2. 第7回春季大会大会長の選出

(利波紀久理事長)

福永仁夫理事が推薦され承認を得た。

3. 中間法人設立(資料) (小泉潔理事)

定款の最終案が提示され、総会で承認を受ける予定である。正会員は医師その他の個人、一般会員は医師でない個人とする(第7条)。ただし資格、権限については正会員と一般会員で差を設けない。理事の任期は2年、監事は4年とする(第21条)。理事の任期は2年後に信任投票を行う。基金は6000万円とする(第39条)。理事の中に、核医学・放射線科を除く内科系より1名を含める(細則第21条6項)。

付記：本最終案は11月12日の総会で承認された。

4. 新医師臨床研修制度における指導ガイド

(資料) (油野民雄理事)

委員会報告の項を参照。

5. 日本核医学会の個人情報保護に関する指針

(資料) (井上登美夫理事)

個人情報保護指針を作成したことが報告され承認された(資料 -1)。

6. 2005(平成17)年度事業計画(資料)

(小泉潔, 本田憲業理事)

資料 により次年度事業計画が説明され承認された。

学術総会の次々次期会長まで選出することに伴い、細則を改訂した。

7. 2005(平成17)年度収支予算案(資料)

(久保敦司理事)

資料 別表IIIに従い予算の説明がなされ承認された。

8. 評議員会、総会の議事進行(資料)

(利波紀久理事長)

総会の議事進行は日下部きよ子会長が行う。

9. 次期理事会への引継ぎ事項(資料)

申し送り事項が確認された。

10. その他

日本核医学会と核医学技術学会との連携について、小泉潔理事より資料 により説明があった。核医学専門技師の認定の準備が進められており、認定試験、核医学専門技師認定機構定款(案)が検討されている。核医学会学術総会と核医学技術学会総会の同時開催は早くても2008(平成20)年となるが、課題も多いので検討を進める。技師の放射性医薬品の調整業務については、次年度春季大会で調剤研修会を開催する。

アジアオセアニア核医学会の学会代表として、引き続き棚田修二先生をお願いすることが承認された。

II. 報告事項

1. 次期理事長の選考結果(玉木長良次期監事)

10月31日の理事長候補者会議において理事長選考が行われ、日下部きよ子氏が選出されたことが報告された。

2. 第45回総会状況報告(日下部きよ子会長)

11月11-13日の学術総会について会長より概要が紹介された。

3. 第46回学術総会準備状況報告

(中條政敬次期会長)

2006(平成18)年11月9-11日に鹿児島県民交流センターで計画されており、「核医学 医学、医療、画像の融合時代を迎えて」をメインテーマに企画を進めていることが報告された。

4. 第6回春季大会準備状況報告

(小須田茂大会長)

2006(平成18)年5月26-28日に大宮ソニックシティで開催予定としている。日程は核医学誌11月号に掲載予定であり、ウェブ上でも閲覧できるように準備している。なお、会場は800席を予定している。

5. 2004(平成16)年度事業報告(資料)

(小泉潔, 本田憲業理事)

本田憲業理事より資料 に沿って事業報告の概要が説明された。

6. 2004(平成16)年度収支決算報告(資料)
(久保敦司理事)

資料 の収支計算書および財産目録により報告がなされた。会計監査が10月31日に中條政敬, 米倉義晴, 両監事により施行され, 問題ないことが報告された。

7. 会計報告(資料) (久保敦司理事)

資料 により会計報告がなされ, 承認された。

8. 委員会報告

1) 編集委員会(資料) (玉木長良理事)

査読の結果 ANM の reject が増えている。

ANM の発行数を現行の年間 8 号から 10 号に増やす予定である。また, 機関誌論文賞では査読者の 10 段階評価により候補を絞った上で最終選考することになった。また, 機関誌の定価を 1800 円に改訂することが承認された。

投稿のオンライン化については引き続き検討を進めており, ただ今査読過程を模擬施行中である。

2) 教育・専門医審査委員会(資料)

(油野民雄理事)

新医師臨床研修制度における指導ガイドにつき, 医師の初期臨床ガイドラインの視点から核医学検査の項の執筆依頼があったため, SPECT は油野民雄理事, PET は伊藤健吾理事が担当で執筆したことが報告された(資料 -1)。
1) 日本専門医認定機構より専門医制度評価調査票の依頼があり提出予定である(資料 -3)。
また, 専門医に関して適切な医師数等の調査があった。次期委員会への引き継ぎ事項が示された(資料 -4)。

3) PET 核医学委員会(資料) (伊藤健吾理事)

PET 研修セミナーを12月3-4日に東北地方(盛岡)で行う予定で準備が進められている。なお, 日本核医学会ではなく, 核医学技術学会が主催で行う PET セミナーについては, その適否に関して厚労省と考え方を議論中であり, 当学会でも方針を決める必要があることが指摘された。核医学会に事前にセミナーの計画を相談

し, 核医学会が主導であることが望ましいのではないかとの意見もあるが, 技術学会とも調整を必要とする。

9月9日に厚労省保健局医務課を訪問し, PET 特掲診療料の施設基準の緩和(共同利用率20%について), および診療報酬改訂に係る「PET/CT 検査」について説明を行った。10月5日に厚労省保健局医療課および医薬品食品審査管理課を訪問し, 先進医療の申請および N-13 アンモニア自動合成装置の薬事承認について相談した。井上登美夫理事より, PET/CT については CT を含む他の画像診断で分からない場合に PET の適応という制限を緩和する必要があることが補足説明された。

「院内製造された FDG を用いた PET 検査を行うためのガイドライン」の改訂を核医学誌次号に掲載予定である。現行の保険適応外であるアルツハイマー病の PET 検査適応については厚労省の先進医療制度を利用できるかもしれないとの考えが出ている。厚労省としては学会をとおして先進医療の申請をお願いしたいとの考えもあることが示された。

4) 健保委員会 (久保敦司理事)

前回議事で報告のとおり, 厚労省に申請後結果待ちである。

5) 広報委員会(資料) (尾川浩一理事)

データベース作成委員会の事業として, 委員を3名追加し今年度のデータベースを作成予定である。ANM の1995-1998年までの遡及入力を行っている。データベースおよび ANM について2006年科学研究費の申請を予定している。また, 次期委員会への引き継ぎ事項の説明がなされた。

6) 法人化対応委員会 (小泉潔理事)

特になし。

7) リスクマネジメント委員会 (竹田寛理事)

副作用調査の報告書案を作成したが, どのような形で公表するか次期委員会で検討する。

8) 標榜科推進委員会 (玉木長良理事)

特になし。

- 9) 放射線防護委員会 (竹田寛理事)
特になし。
- 10) 倫理検討委員会(資料) (井上登美夫理事)
個人情報保護指針については審議事項5を参照。放射性薬剤研究委員会(RDRC)について検討した。テキサス大学のMD アンダーソンがんセンターのRDRC 定款を翻訳した結果を資料として提示した。
- 11) 選挙管理委員会(資料) (日下部きよ子会長)
平成17年度の役員報告がなされた。
- 12) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会(資料) (久保敦司理事)
厚労省より臨床評価ガイドラインの問題点を指摘されたため、引き続き検討を行うことになった。
- 13) PET/CT ガイドライン作成委員会 (井上登美夫理事)
先回報告のとおりである。
- 14) 核医学イメージングガイドライン作成委員会 (穴戸文男理事)
エビデンスレベルを明確にするか、教育用のガイドラインと統合するか等を検討中であり、次期委員会に委ねる。
9. ワーキンググループ (伊藤健吾理事)
引き継ぎ事項として、WG 活動の活性化および報告会のあり方の2点について検討を要する。
10. 分科会活動
- 1) 腫瘍・免疫核医学研究会 (阪原晴海理事)
特になし。
- 2) 日本脳神経核医学研究会 (中川原譲二理事)
脳神経領域でもガイドライン作成が進んでいる。統計解析にあたり、健常者データベースについても検討している。
- 3) 日本心臓核医学会 (大鈴文孝理事)
玉木長良理事により本学術総会最終日に予定されている次回学会の構成が説明された。今後、心臓核医学に関する講演やセミナー等を核医学会学術総会の中でも予定したい。心臓核医

学ガイドラインを日本循環器学会で作成終了しており、核医学会でも機関誌等で公開したい旨説明された。

- 4) 呼吸器核医学研究会 (井上登美夫理事)
本学術総会最終日に予定の次回研究会の説明がなされた。
11. 世界核医学会(資料) (利波紀久理事長)
Myung Chul Lee 氏からの手紙に関連して、世界核医学会への対応につき説明がなされた。
12. 米国核医学会 (玉木長良理事)
SNM のブースの提供は次回も予定され、SNM-JSNM ジョイントセミナーについては酸素ガス(O-15)に関するセミナーの準備が進められている。
13. アジアオセアニア核医学会 (ARCCNM 兼務) (阪原晴海理事)
特になし。
14. 日韓中核医学会 (小泉潔理事)
特になし。

III. 確認事項

前回議事録(資料)
確認が行われ承認された。

§ 平成17年日本核医学会評議員会議事録

日 時：平成17年11月10日(木)

午後16時10分～17時

場 所：ホテルイースト21 3階 東陽

議題

1. 第45回日本核医学会総会報告
2. 第46回日本核医学会学術総会準備状況報告
3. 平成16年度事業報告および収支決算報告
4. 平成17年度事業計画および収支予算案
5. 平成20年開催第48回学術総会会長 選任
6. 中間法人設立
7. 次々次期会長選出に伴う細則改正
8. 新役員承認

9. その他

議事

評議員定員 180 名，出席 68 名，委任状 49 通，にて評議員会が成立したことを会長が確認，報告したのち，議事に入った。

1. 日下部会長が第 45 回日本核医学会総会の概要を報告した。
2. 第 46 回総会準備状況報告が中條政敬次期会長から行われた。
会期は 2007 年 11 月 9-11 日，鹿児島市，メインテーマ「核医学 医学，医療，画像の融合時代を迎えて」であることが報告された。
3. 平成 16 年度事業報告，委員会報告が資料にそって行われ，承認された。
4. 平成 16 年度収支決算報告が行われ，中條政敬監事より適正な会計が行われている旨の報告があり，承認された。
5. 平成 17 年度事業計画が提案され，承認された。
6. 平成 17 年度収支予算案が提案された。有限責任中間法人の成立にともない，変更があることも説明され，変更の可能性を含め承認された。
7. 平成 20 年開催第 48 回学術総会会長として米倉義晴氏を総会へ推薦することを提案し，承認された。
8. 中間法人設立のための定款・細則を提案し，質疑応答の後，承認された。
9. 名誉会員 2 氏，功労会員 8 氏を理事会より総会へ推薦することを提案し，承認された。
10. 次々次期会長選出，名称変更に伴う細則改定について提案し，承認された。
11. 選挙によって選出した新役員（理事，監事，評議員）について報告し，承認された。
12. 次期学術総会会長 中條政敬先生から挨拶があった。

§ 平成 17 年日本核医学会総会議事録

日 時：平成 17 年 11 月 12 日（土）

午後 16 時 10 分～17 時 10 分

場 所：タワーホール船堀 大ホール（第 1 会場）

議題

- I. 平成 16 年度事業報告および収支決算報告
- II. 平成 17 年度事業計画および収支予算案
- III. 平成 20 年開催第 48 回学術総会会長 選任
- IV. 中間法人設立
- V. 次々次期会長選出に伴う細則改正
- VI. 新役員承認
- VII. 平成 17 年開催第 45 回学術集會会長 挨拶
平成 18 年開催第 46 回学術総会会長 挨拶
- VIII. 各賞贈呈
日本核医学会賞
日本核医学会研究奨励賞
日本核医学会機関誌論文賞
Asia and Oceania Distinguished Young Investigator's Award
- IX. 名誉会員証・感謝状贈呈

議事

出席 86 名，委任状 788 通，にて総会が成立したことを会長が確認，報告したのち，議事に入った。

1. 平成 16 年度事業報告，委員会報告が資料にそって行われ，承認された。
2. 平成 16 年度収支決算報告が行われ，米倉義晴監事より適正な会計が行われている旨の報告があり，承認された。
3. 平成 17 年度事業計画が提案され，承認された。
4. 平成 17 年度収支予算案が提案された。有限責任中間法人の成立にともない，変更があることも説明され，変更の可能性を含め承認された。
5. 平成 20 年開催第 48 回学術総会会長として米倉義晴氏が，理事会，評議員会で選出された

ことが報告され、第 48 回日本核医学会学術総会会長として承認された。

6. 中間法人設立のための定款・細則を提案し、質疑応答の後、承認された。
7. 名誉会員 2 氏、功労会員 8 氏を推薦することが承認された。
8. 次々次期会長選出、名称変更に伴う細則改定について提案し、承認された。
9. 選挙によって選出した新役員(理事、監事、評議員)について報告し、承認された。
10. 次期学術総会会長 中條政敬先生から挨拶があった。
11. 第 44 回日本核医学会賞が中本裕士、百瀬満(敬称略)に、第 2 回日本核医学会研究奨励賞が小川美香子、田代学、銭谷勉(敬称略)に、2005 年日本核医学会機関誌論文賞が石守崇好(敬称略)に、Asia and Oceania Distinguished Young Investigator's Award が Chih Fung Lam, Kyung-Hoon Hwang, Bishnuhari Paudyal, Andrej Lyshchik(敬称略)に贈呈された。
- 第 2 回日本核医学会研究奨励賞最優秀賞に、小川美香子(敬称略)が決定した。
12. 油井信春氏へ名誉会員証が贈呈された。
13. 第 44 回日本核医学会総会会長の西村恒彦氏、第 5 回春季合同セミナー会長の今枝孟義氏に日本核医学会への貢献により、感謝状が贈呈された。